産官学連携抗疲労プロジェクトで生まれたイミダペプチドをご提供します。

イミダペプチド成分とは

渡り鳥が数千キロを飛び続ける秘密から発見された成分で、動物の最も酷使する部位に存在し、人間では脳に豊富に存在することが知られています。
イミダゾール基により、抗酸化作用とpH緩衝作用を持ち、脳内で作用することから自律神経調整作用が認められています。

販売店募集

イミダペプチド飲料（30mℓ）30本入　希望小売価格7,500円（税込）
イミダペプチドソフトカプセル120粒　希望小売価格8,680円（税込）

商品取扱販売店様を募集いたします。
厳選募集のため、当社に審査がございます点をご了承下さい。
※ネットを介しての販売はご遠慮いただいております。

PB・OEM供給

イミダペプチド成分の原料供給、PB・OEM供給を承っております。

マスコミ各社で大注目!

スーパーニュースアンカー（関西テレビ）'09年8月25日
疲れをとる効果が初めて実証されたドリンク剤 イミダペプチド

みんなの家庭の医学（朝日放送）'10年7月27日
たけしの健康エンターテイメント!夏バテ予防とりむね肉とビタミンCのチカラ（イミダペプチド成分とは）

カラダのキモチ（TBS）'10年11月28日
現代人を救う! 疲労解消の極意 イミダペプチド成分紹介

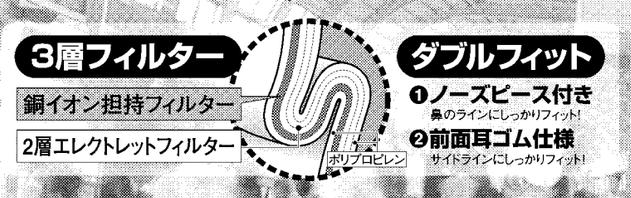
他「26時間テレビ（フジテレビ）」でご紹介いただくなど多数。
雑誌・新聞掲載や有名人によるブログでの紹介も多数。

お問い合わせ先
Japan Preventive Medicine
日本予防医薬
〒560-0082　大阪府豊中市新千里東町1−4−2　千里LC13F
TEL.06-6831-3383　FAX.06-6831-3363
URL http://japanpm.com　メール support@japanpm.com
東証マザーズ上場　総医研ホールディングス（証券コード：2385）100%出資会社

daiwabo

しっかりブロック、ぴったりフィット。

バクテリアろ過効率（BFE）99%［測定機関：（財）日本化学繊維検査協会］



京都産業大学と産学共同研究した
抗ウイルス不織布使用
プロテクシールド®
ProtecShield

プロテクシールドは、ウイルス感染予防に特化した高機能サージカルマスク。
京都産業大学との産学共同研究により開発（特許出願中）した
銅イオン担持抗ウイルス不織布を使用しました。

1箱30枚入り　Lサイズ（90×175mm）・Mサイズ（90×145mm）
10箱（300枚入り）／1ケース

ダイワボウポリテック株式会社
機能素材販売課　TEL.06-6281-2414
http://www.daiwabo.co.jp/

医療・バイオでつながる

薬品、医療技術を革新

九州

産業集積も目指す

産学官が連携して日本発の革新的な医薬品・医療技術の研究開発を目指した取り組みが九州で動き出した。2010年10月九州大学は、大学病院（福岡市東区）に「先端医療イノベーションセンター」を発足し、同センターが入居する教育研究施設を11年3月に完成させる。企業参加型の臨床研究を推進し、治験を含む臨床試験の支援や人材育成の中核拠点にする狙いだ。

具体的には高精度診断システムの開発により、がんの発見率、診断精度の向上や手術支援ロボットと放射線を組み合わせた治療機器の開発を行う。医療技術者の育成など先端医療分野における研究開発から臨床試験までを一貫して支援するオープンイノベーション拠点を目指している。

一方、大分・宮崎両県も医療機器産業の集積による東九州地域の活性化を目指した「東九州地域医療産業拠点構想」を策定。10年度末に同構想推進会議を設置する。

両県にまたがる同地域には人工腎臓や血液浄化機器などを生産する旭化成クラレメディカル（東京都千代田区）や、川澄化学工業の工場が多数立地する。この好環境を生かして血液・血管関連分野の研究開発、人材育成、高度医療、地場企業の同機器産業への新規参入という四つの取り組みを加速させる。西日本で唯一の治験中核病院である大分大学医学部付属病院（大分市）を核に、同機器開発における治験期間の迅速化を図るほか、高度な同機器を操作する臨床医師などを育成する。さらに地場企業が自動車や半導体関連で培った技術を武器に、新規参入を後押しする考えだ。

心臓病診察シミュレーターで実習（大分大学医学部付属病院）

高度医療機器の開発と医療技術者の育成が求められる（同病院人工透析室）

疲労回復にイミダゾールジペプチド

産学官連携組織の研究で判明

1999年に厚生労働省が実施した疲学調査によると就労人口の６割が疲労を自覚しており、うち半数は６カ月以上続く慢性疲労を抱えている。2003年、疲労を数値化して客観的に測定、疲労回復に効果のある医薬品や食品の開発を目指し、産学官連携による「抗疲労食薬開発プロジェクト」が立ち上がった。

プロジェクトでは疲労の客観的な評価方法の確立とともに、その評価法を用いて23種類の成分が試験され、その中でも「渡り鳥」の翼の筋肉に豊富に含まれる「イミダゾールジペプチド」に優れた疲労回復効果があることが判明。肉体疲労の軽減だけでなく精神疲労への有用性が明らかになった。

大阪大学医学部発のバイオベンチャーである日本予防医薬が飲料、サプリメント、原料として供給している。

大阪

技術と観光 核に新たな道開く

大阪では国際文化研究都市（彩都）やりんくうタウンを中心に医療分野の注目度が高まっている。彩都ではライフサイエンス分野を対象として西部地区と中部地区が分譲中だ。関西のライフサイエンスと言えば、道修町（大阪市中央区）が大手製薬企業の創業地として有名。ところがここ最近、中小が新規参入するなど医療機器分野も動き始めた。この流れを受け大阪は、メディカルポリスとして米国・ミネソタ州と2010年2月に協力提携（MOU）を締結。記念講演で大阪を訪れたティム・ポーレンティーミネソタ州知事は「医療機器の共同開発という結果を出す」と、世界的なネットワークも形成しつつある。

医療ツーリズムについても流行の兆しがある。銀聯（ぎんれん）カードを駆使しながら10万円単位の買い物を一度にするなど、中国人観光客の消費ポテンシャルは高い。観光に医療という要素を加えれば、さらに単価は上がると見て、大阪府や大阪市といった行政機関のほか、大阪商工会議所も興味を示し、相次いで研究会を立ち上げている。医療ツアーの下見に大阪を訪れた中国の旅行代理店関係者は、「近場でのサービスを探している」とニーズも高い。

関西国際空港のおひざ元、南大阪地域ではりんくうタウンを中心として医療ツーリズムの拠点を整備したいとの思惑が地元では強い。さらに大阪駅北地区再開発事業「うめきた」では、シンガポールの医療ツアーを受け入れる「ラッフルズ・メディカル・グループ」のテナント誘致に成功した。古くから製薬の街として知られた大阪が製造技術や観光をテコに新たな道を切り開いていく。

神戸

医療の一大拠点へ

神戸市は同市中央区の人工島ポートアイランド2期地区で、医療産業都市の整備を進めている。高度医療技術を持つ病院や研究開発拠点を整備し、その周辺に医療関連産業を集積させることで、基礎研究から臨床研究、産業化の一大拠点を形成するのが狙い。

これまでに理化学研究所の発生・再生科学総合研究センターや先端医療センターが開設し、今年の7月には新中央市民病院が移転開業する。また、2012年には、京速コンピューター「京（けい）」が本格稼働し、神戸国際フロンティアメディカルセンターが開設するなど、高度治療や研究が行える拠点整備が着々と進んでいる。

神戸市は政府に同地区を「神戸国際先端医療特区」として認定するよう提案しており、実現すれば臨床検査や医療行為の規制緩和により、関連産業の集積にはずみがつくと期待している。

岡山

ロボ技術 取り込む

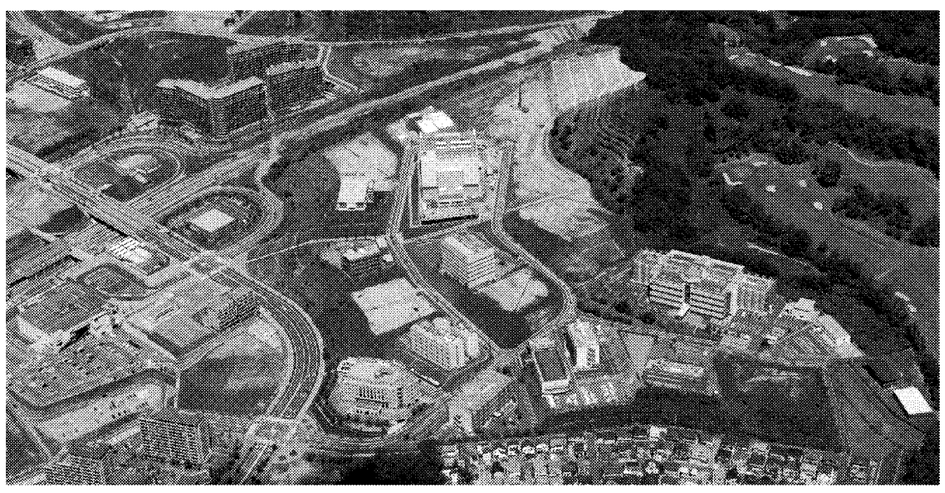
岡山県は2011年度から、サイバーダイン（茨城県つくば市）が開発したロボットスーツ「HAL（ハル）」を高齢者やリハビリ患者など筋力が衰えた人の歩行や動作補助用に県内の医療機関や老人保健施設などへ1年単位で無料で貸し出す事業を始めた。HALは装着した人が体を動かす時に筋肉に伝わる微弱な電気信号をセンサーで読み取り、装着者の筋肉と一体となって作動し、動きを支援する。サイバーダインは09年10月から両脚型と右、または左足に着ける単脚型のHALをレンタルしている。岡山県が両脚型を20台程度借りて各施設に貸し出す。

さらにロボットスーツを生産現場で活用する用途開発の研究にも取り組む。先進的ロボット技術をアピールし、ロボットスーツの開発拠点や量産工場の誘致を目指す。

彩都　みどりとみらいのみえる丘

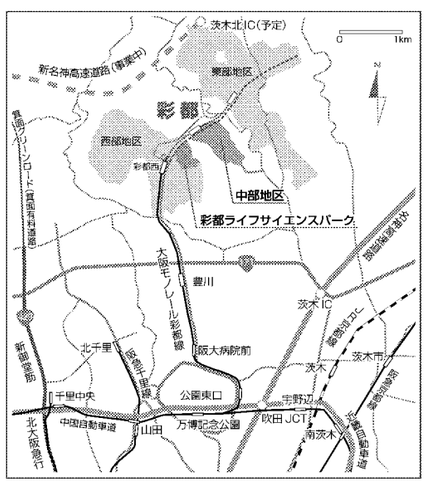
人にいい環境は、企業にもいい環境です！

駅前・徒歩圏の事業用地　彩都ライフサイエンスパーク　大阪・茨木



残りわずか4区画

分譲・賃貸　好評受付中



資料請求お問合せ　TEL：06-6949-1201　URL　http://www.saito-lsp.jp/

国際文化公園都市株式会社　事業用地担当　〒540-0012　大阪市中央区谷町2−2−22　NSビル8階　E-mail：info@saito-kokubun.co.jp